

令和3年度事業報告

I 事業の概要

当財団は、岡山県内に居住する世帯の子弟のうち、心身健全、学力優秀又は勉学への意欲がある学生生徒で経済的理由により修学困難なものに対し、奨学上必要な業務を行い、もって将来社会に貢献し得る有為な人材を育成することを目的とし、2つの事業を行っています。

まず、奨学金の貸与に関する事業については、高等学校授業料無償化、高校生等奨学給付金の創設に伴い、新規採用者数は毎年減少傾向ではあります。しかしながら、令和2年から続く未曾有の危機とされる新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、経済状況の悪化は、強く不安視されており、より進学の世界均等を保証する奨学金の重要性は変わらず高く求められています。

返還については、未償還金が年々増加し、当財団の一番の課題となっていますが、粘り強い回収に対する取組や督促強化により、令和3年度は未償還金を減少することができました。引き続き、更なる未償還金の減少及び新たな未収償還金の発生防止に努めるため、より一層回収強化を図っていきます。

また、令和元年度限定で実施した「被災生徒就学支援基金事業」奨学金のうち、令和3年3月末に高等学校等を卒業した奨学生より返還免除の申請があり、返還額全額免除が承認されました。

次に、学生寮の運営に関する事業については、令和3年度から新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、寮室を完全個室運営とすることを決定し、定員を45名としました。寮生募集は例年2回のところ、2月からの1回実施となりましたが、令和3年度は新規入寮生が13名入り、在寮生と合わせて43名の入寮状況となりました。令和4年度の新入寮生募集は、例年どおりの募集時期で実施しました。

令和3年度は、東京寮西面及び南面外壁補修工事と新型コロナウイルス対策環境整備として、東京寮トイレ3階4階改修工事を実施しました。より良い寮生活ができるよう改善に努めています。

II 事業活動

1 奨学金の貸与に関する事業

今年度の奨学金の新規採用実績は、育英奨学金241名の予算枠に対し、134名の応募があり、基準内の120名を採用決定（内6名辞退）。また修学奨学金64名の予算枠に対し、49名の応募があり、基準内の41名を採用決定（内9名辞退）しました。

詳細内訳は資料1のとおりです。

また、貸与実績については、資料2のとおりです。

○従来からある育英奨学金では、国公立高校（新規19名・継続39名）計58名に対し、12,528千円を貸与。

○旧日本育英会高校奨学金地方移管分等の育英奨学金では、国公立高校（新規31名・継続79名）及び私立高校（新規65名・継続139名）計314名に対し、98,341千円を貸与。

○平成22年度から県より移管された修学奨学金では、国公立高校（新規10名・継続21名）及び私立高校（新規22名・継続65名）計118名に対し、38,076千円を貸与。

○通学貸付金では、平成26年度末にて貸与終了。

次に、奨学金の返還状況及び返還率については、資料3のとおりです。

○従来からある育英奨学金及び修学奨学金の返還金総額 159,514,713円

○旧日本育英会移管分等の育英奨学金の返還金総額 401,996,576円

○令和3年度返還率（現年分） 89.0%

令和2年度返還率（現年分）は88.3%であり、0.7%返還率の改善が図られました。返還率は、昨年に引き続きの改善成果であり、近年、監査の指摘事項にあった未収償還金を減少することもでき、新たな未収償還金の発生防止にもつながりました。また、滞納者数も大幅に減少することができました。

返還金回収に対する現在の措置状況は、次のとおりです。

- ①電話督促員を配置し、初期滞納者に対し電話連絡を迅速に行う。
- ②滞納整理員（嘱託職員）を採用し、長期滞納者に対し訪問及び電話督促を細やかに行う。
- ③法的措置を導入し、長期滞納者の返還に対する意識向上を行う。令和2年度から法的措置選定基準の改正に伴い、対象者枠の拡大を図る。
- ④県外居住者や連絡が取れない等の督促が困難な者に対して、債権回収外部委託を導入する。今まで交渉ができなかった者への返還に対する意識向上を図る。
- ⑤月賦制度、口座振替制度の利用を図るように指導。また、状況に応じ分納を認める等、返還しやすい対応を行う。令和元年度から実施している分納返還を希望する者に対し「分割返還申請書」の提出を求め、定期的に分割返還することについて意識向上を図る。
- ⑥返還猶予制度を周知し、制度の活用を指導。
- ⑦長期滞納者のうち、既に返還終期を迎えている返還者へ督促強化を図る。

平成30年度から導入した債権回収外部委託は、弁護士法人に委託しており、滞納者への通知文が弁護士名で送付されるため、今まで連絡や交渉ができなかった滞納者と交渉が進み、返還金回収に成果が出ています。（令和3年度回収率は18.0%）

また、今後は令和3年度導入準備を進めた返還金のコンビニ収納を本格活用し、より返還しやすい環境を返還者へ周知し、利用促進を図ることで、返還金回収を図ります。

他に、令和元年度から実施している貸与開始前に「事前確認書」を提出することで、貸与段階から返還に対する意識向上を図る取り組みも継続しています。

次に、通学貸付金の返還状況及び返還率は、返還金総額1,522,800円で、返

還率81.8%でした。

返還については、今年度効果を上げた対策を継続しながら、更に効果的・効率的な対策についても検討するとともに、個々に応じた対応を粘り強く講じ、監査指摘事項の返還率向上を引き続き課題としていきます。

最後に、令和元年度限定事業の被災特例枠奨学生のうち、令和3年3月末に高等学校等を卒業した51名から返還免除の申請があり、返還額全額（13,608千円）の免除が承認されました。詳細内訳は資料4のとおりです。

2 学生寮の運営に関する事業

令和3年度から、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、寮生活も新しい生活様式へ対応することが望ましく、寮室を完全個室化しました。今年度は、新規入寮者数が13名、在寮生と合わせて43名で学生寮を運営しました。（入居率95.6%）

次年度の新規入寮生の募集については、従来の募集時期と同様に募集を実施し、令和4年度は11名の新規入寮者が見込まれ、在寮生と合わせて40名の寮生で運営予定となりました。定員に対し入寮率は、88.9%となる予定です。

新規入寮生の募集については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、各学校への周知依頼とホームページ・新聞・広報誌・フリーペーパーの記事掲載に留まり、十分な広報活動ができなかった結果、入寮率の低下にも繋がったと考察しています。来年度以降新規入寮者数を増やすための取組を再検討し、早急に安定した寮運営ができるよう対処を図ります。

新規入寮者の詳細や在寮生の大学別人数は、資料5、6のとおりです。

次に、施設については、老朽化に伴い一部剥離がみられる東京寮の西面及び南面の外壁補修工事の実施及びコロナウイルス環境整備対策の一環としてトイレ（3・4階）改修工事を実施しました。詳細は次のとおりです。

○令和3年9月22日（水） 工事請負業者決定

- ・工事名称 岡山県育英会東京寮西面及び南面外壁補修工事
- ・工事場所 東京都港区高輪3丁目14番21号 岡山県育英会東京寮地内
- ・請負業者 東京都港区三田3-1-23
株式会社クリオンニセン 代表取締役 川原 正和
- ・契約金額 1,845,074円（うち消費税及び地方消費税額 167,734円）
- ・工期 令和3年9月22日～令和3年10月31日

なお、工事作業中に工事内容の一部変更が生じたため、協議の上、令和3年10月1日に変更契約を行いました。

工事完成届は、令和3年10月31日に提出され、11月2日に工事しゅん工検査を終え、無事終了しました。

○令和3年7月8日（木） 委託業者決定

- ・委託業務名 岡山県育英会東京寮トイレ改修工事実施設計委託
- ・委託場所 東京都港区高輪3丁目14番21号 岡山県育英会東京寮地内
- ・委託業者 東京都文京区小石川5-13-5
株式会社丸川建築設計事務所東京事務所
取締役東京事務所長 林 卓也
- ・委託金額 1,815,000円（うち消費税及び地方消費税額 165,000円）
- ・委託期間 令和3年7月8日～令和3年9月29日

委託業務完成届は、令和3年9月29日に提出され、9月29日に完了確認を終え、無事終了しました。

○令和3年10月29日（金） 工事請負業者決定

- ・工事名称 岡山県育英会東京寮トイレ改修工事（3・4階）
- ・工事場所 東京都港区高輪3丁目14番21号 岡山県育英会東京寮地内
- ・請負業者 東京都品川区旗の台6丁目28番8号
株式会社兼藤 代表取締役 安藤 公裕
- ・契約金額 14,311,000円（うち消費税及び地方消費税額 1,301,000円）
- ・工期 令和3年11月5日～令和4年2月28日

なお、工事作業中に工事内容に一部変更が生じたため、協議の上、令和4年1月21日に変更契約を行いました。

工事完成届は、令和4年2月22日に提出され、2月24日に工事しゅん工検査を終え、無事終了しました。

○上記工事監理委託

- ・委託業者 東京都文京区小石川5-13-5
株式会社丸川建築設計事務所東京事務所
取締役東京事務所長 林 卓也
- ・委託金額 1,925,000円（うち消費税及び地方消費税額 175,000円）
- ・委託期間 令和3年11月29日～令和4年3月21日

委託業務完成届は、令和4年3月21日に提出され、3月22日に完了確認を終え、無事終了しました。

Ⅲ 庶務の概要

1 申請・届出事項・県補助金等手続事項

(1) 申請・届出事項

- ①公益目的事業の変更届を行政庁（岡山県）へ提出（令和3年4月1日）
- ②事業報告等を行政庁（岡山県）へ提出（令和3年6月30日）
- ③役員の変更登記申請（令和3年7月8日）
- ④役員の変更届を行政庁（岡山県）へ提出（令和3年7月30日）
- ⑤事業計画書等を行政庁（岡山県）へ提出（令和4年3月31日）

(2) 県補助金等手続事項

資料7のとおりです。

2 会議開催状況

理事会，評議員会，選考委員会の開催状況は次のとおりです。

(1) 理事会

- ・第30回理事会（令和3年6月18日）書面決議
 - 第1号議案 令和2年度事業報告及び計算書類承認の件
 - 第2号議案 定時評議員会の招集の決定の件

- ・第31回理事会（令和3年6月25日）書面決議
 - 第1号議案 代表理事（会長）1名選定の件
 - 第2号議案 副会長2名選定の件
 - 第3号議案 常務理事1名選定の件

- ・第32回理事会（令和4年3月25日）ピュアリティまきび
 - 第1号議案 令和3年度補正予算案の件
 - 第2号議案 令和4年度事業計画及び収支予算案等の件
 - 第3号議案 被災特例枠奨学金返還免除決定の件
 - 第4号議案 寄付金受納及び管理・運用の件
 - 報告事項 令和3年度事業報告
 - 令和2年度委員監査報告

- ・第33回理事会（令和4年3月28日）書面決議
 - 第1号議案 評議員会の決議の省略について承認の件
 - 第2号議案 評議員会の決議事項

(2) 評議員会

- ・第13回評議員会（令和3年6月25日）書面決議
 - 第1号議案 令和2年度計算書類の承認の件
 - 第2号議案 令和2年度事業報告の報告の省略の件
 - 第3号議案 任期満了評議員改選の件
 - 第4号議案 任期満了理事改選の件
 - 第5号議案 任期満了監事改選の件

(3) 選考委員会等

- ①令和3年度第1回奨学生選考委員会（令和3年6月28日）西川原プラザ
 - ・選考委員9名／育英奨学金 71名及び修学奨学金 28名採用
- ②令和3年度第1回法的措置検討委員会（令和3年6月28日）西川原プラザ
 - ・委員5名／10名法的措置対象者決定
- ③令和3年度第2回奨学生選考委員会（令和3年11月17日）ピュアリティまきび
 - ・選考委員10名／ 予約：育英奨学金 46名及び修学奨学金 11名採用
在学：育英奨学金 20名及び修学奨学金 3名採用
緊急：育英奨学金 ※別日追加選考にて1名採用
- ④令和3年度第2回法的措置検討委員会（令和3年11月17日）ピュアリティまきび
 - ・委員5名／5名法的措置対象者決定
- ⑤令和4年度東京寮入寮生選考委員会（令和4年3月14日）西川原プラザ
 - ・選考委員5名（内2名はオンライン参加）／13名入寮許可（内3名辞退）
※別日追加選考にて1名入寮許可

3 役員・職員に関する事項

(1) 役員に関する事項

- ・令和3年6月25日
 - 評議員 任期満了による改選 再任評議員7名，新任評議員4名
近藤 隆則氏，林 秀臣氏，小田 幸伸氏，竹林 京子氏の4名が新任評議員
 - 理事 任期満了による改選 再任理事8名，新任理事3名
伊東 香織氏，竹田 義宣氏，橋本 勇人氏の3名が新任理事
 - 代表理事に門野 八洲雄氏，副会長に山崎 親男氏，鍵本 芳明氏，常務理事に栗原 宏之氏が再任

監 事 任期満了による改選 再任監事 2 名

役員等一覧（令和 4 年 3 月 3 1 日現在）

	役 職	氏 名		役 職	氏 名
理 事	会 長	門野 八洲雄	評 議 員	評議員	近藤 隆則
	副会長	山崎 親男		評議員	山野 通彦
	副会長	鍵本 芳明		評議員	林 秀臣
	常務理事	栗原 宏之		評議員	中塚 多聞
	理 事	伊東 香織		評議員	坂本 英幸
	理 事	原田 育秀		評議員	小林 洋明
	理 事	松田 久		評議員	三浦 一男
	理 事	竹田 義宣		評議員	小田 幸伸
	理 事	片山 浩子		評議員	藤原 佳代子
	理 事	柏原 洋子		評議員	福島 治子
監 事	監 事	小西 洋史	理事 1 1 名 / 監事 2 名 / 評議員 1 1 名	評議員	竹林 京子
	監 事	亀森 敏宏			